



夢・挑戦

令和5年度 第5号

田鶴小学校 学校通信
令和5年 9月 1日

挑戦と主体性

(始業式の校長の話より)

～～（前略）～～

今以上にみんなに成長してもらいたいのので、1学期の課題にプラスして次の課題を伝えます。それは、“挑戦”です。挑戦ってチャレンジとも言いますね。自分、または自分たちで考えてどんどん新しいことに挑戦して欲しいのです。挑戦し続けるとどんないいことがあるかという、“主体性”という力が付くんです。

主体性とは、人に言われたことだけをするのではなく、自分の気持ちや考えで、自分の責任で行動することです。ようするに、自分で考えて行動する力です。人に言われたからするより、ずっと楽しいしやりがいがあるでしょうね。そして、主体性というのは、これから大人になっていくみなさんにとって大変大切な力なのです。

田鶴の子のパワーは無限だと思っています。小さなことも、大きなこともどんどん挑戦して行って下さい。先生たちはそんなみなさんを全力で応援します。

田鶴小の校訓は「夢・挑戦」です。その挑戦を意識してください、夢についてはまた、話をします。さあ、失敗を恐れずに、2学期は挑戦する学期にして下さい。何が出来るか、自分もクラスでもしっかり考えて下さい。2学期終業式のみなさんの成長を楽しみにしています。



令和の日本型学校教育

「令和の日本型学校教育」とは、すべての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するというものです。「個別最適な学び」とは、一人一人に応じた学習の仕方や学習内容に取り組むことで、最適となるようにする学びのこと。「協働的な学び」とは、子供どうしや他者と協働しながら必要な資質・能力を育成する学びのこと。ようするに、個人にあった課題をそれぞれがやったり、グループで学習を進めたりしながら、どちらも教師が個人へのサポートをしっかりしていこうというものです。そこで、ICT機器はとても有益で必要不可欠な道具なので、タブレットなどICT機器の使い方も学習します。



田鶴小学校は、この「令和の日本型学校教育」を進めています。ある日の2年生の算数では、1人で、または自分で選んだ仲間とグループを組んで、プリント学習に取り組んでいました。1人でやる子はマイペースでより集中してできるし、グループの子はお互いに考えを説明したり教え合ったりすること、また人の考えをしっかりと聞くことで力を伸ばし合えます。その日の授業によって自分がどの形にするかを考えて取りかかるので、そういった面からも主体的に学習に取りかかろうとする意欲が芽生え、一斉授業よりもすでに少しずつ成果（問題の正答率が上がる、グループ内で考えがまとまったらお互いに拍手をするなど）が出ています。このような取組は、学校全体であらゆる教科で今後さらに発展させていきます。



運動会の練習

9月30日の運動会に向けて練習が始まりました。本番同様に練習の過程も大事だと思います。運動会以外にも2学期は大きな行事がいくつもあります。 “挑戦と主体性”をモットーに、できる限り子どもたちの手で進めていけるようにします。心身ともに成長できるよう教職員も一緒に頑張ります！！



また、今年は例年以上に暑さ対策が重要です。熱中度指数計とにらめっこしながら運動場での練習と講堂での練習をその都度調整していくので、子どもたちのモチベーションが下がらないよう工夫が必要です。

田鶴の子どもたち



仲良く教え合います（3年）

学級会もICTを使って（6年）

元気いっぱいも遊びます（4・5年）

「おいしかった～」（1年）